

代 表 質 問

2月22日の本会議で、4名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

自由民主党世田谷区議団
山口 ひろひさ 議員



次世代にツケを回す29年度予算案

質問 社会保障費などの増加が見込まれる中、区長は多額の基金を取り崩し、かつ区債を大幅に増額して29年度予算を編成した。次世代に重いツケを回すつもりなのか。

区長 将来への投資を続け持続可能な区政運営を固めるものである。

実効性ある行政経営改革の断行

質問 健全財政の構築に向けて放漫財政を改善し、利用者負担見直しなどの区民の痛みを伴う行政経営改革でも実効性があれば、区長は断行すべきだ。見解を示せ。

区長 実効性ある新たな改革の具体策を次期新実施計画で示したい。**税外収入の確保策の強化**

質問 区は歳出削減が難しいのならば、税外収入の確保策を強化すべきだ。東京20大会で米国選手団のキャンプ地となる総合運動場にネーミングライツを導入せよ。

政策経営部長 導入による影響や効果など多様な視点で検証したい。**ふるさと納税による減収への対応**

質問 区民の区外へのふるさと納税による区の減収は深刻な状況だ。区への寄附者を体験型事業に招待するなど、返礼品競争とは一線を画した手法で寄附文化を醸成せよ。**区長** 体験型事業への参加機会の提供も視野に寄附文化を醸成する。

一刻も早い本庁舎整備の実現

質問 本庁舎整備におけるこれ以上のスケジュールのおくれは許されない。一刻も早く整備を実現するという強い使命感を持ち設計者審査委員会の円滑な運営に努めよ。

副区長 32年度からの着工を目指し、着実に取り組みを進めていく。**都市基盤整備の積極的な推進**

質問 区内には木造住宅密集地域が多く火災時の甚大な被害が懸念される。区長は都市基盤整備への消極的姿勢を改め、延焼遮断帯となる道路や公園の整備に尽力せよ。

区長 災害に強いまちづくりに必要な都市基盤整備を着実に進める。

区内駅へのホームドアの整備促進

質問 駅ホームにおける視覚障害者の転落事故を防ぐには、ホームドアの整備が不可欠だ。一日も早く区内全駅への整備が実現するよう、事業者に粘り強く働きかけよ。

道路・交通部長 早期整備と安全対策強化に取り組みよう働きかける。

空き家対策の迅速な実行

質問 管理不全な空き家への区の対応が遅々として進まないため、独自に見回りなどに取り組み町会もあると聞く。区は危機感のなさを十分認識し、迅速に対応せよ。

防災街づくり部長 地域など連携し、安心安全な住環境の確保に努める。

地域包括ケアシステムの体制強化

質問 地域包括ケアシステムの相談体制を強化すべきだ。あんしんすこやかセンターの地区連携医を活用し、支援が必要な区民を医療や介護サービスに的確につなげよ。

副区長 地区における多種連携のネットワークづくりを進める。

世田谷版ニューボラの早急な検証

質問 世田谷版ニューボラが開始されたにもかかわらず、母親が乳児を死亡させる事件が区内で起きた。事態を重く受けとめて当事業を早急に検証し、再発防止に努めよ。

副区長 十分検証し、結果を直接などに生かして再発防止に努める。

若者支援の本質を捉えた施策展開

質問 区の若者支援は居場所づくりなどの対症療法的な取り組みにすぎない。若者支援の本質は自分で居場所をつくる力を育むことであり、その教育にこそ力を注げ。

区長 若者が生きる力を育めるよう切れ目のない施策を展開したい。

現教育センターの今後の展開

質問 新教育センター開設後に現教育センターを区民が集う魅力あふれる施設として再整備すべきだ。飲食関連の機能充実を図るなど、民間活力の導入も視野に工夫せよ。

教育政策部長 多くの区民に親しまれるような機能拡充を検討する。

公明党世田谷区議団
津上 仁志 議員



将来像が見えない29年度予算案

質問 29年度予算案からは区長が描く区の将来像が見えない。本庁舎整備などに伴う歳出の増大や特別区交付金の減収などが見込まれる中、何に重点的に取り組むのか。

区長 参加と協働によるせたがやの推進を目指し創意工夫を重ねる。

区立図書館の民営化への道筋

質問 財政負担の軽減や行政サービスの質の向上に向け、区施設の民営化を迅速に進めるべきだ。特に、中央図書館も含めた区立図書館の民営化への道筋を明確に示せ。

教育政策部長 民間活力導入の道筋は、今後の関連計画の中で示す。**幼児教育センター機能の整備**

質問 区は幼児教育センター機能の整備に際し、国モデル事業として幼児教育のあり方に係る調査研究を関係機関と行う予定だ。円滑な実施に向け理念を十分共有せよ。

教育次長 関係者との幼児教育・保育推進ビジョンの共有に努める。

世田谷版ニューボラの体制強化

質問 世田谷版ニューボラの体制を強化すべきだ。全妊婦を確実に面接につなげられるよう、窓口の拡充や訪問支援の充実に取り組め。

保健所長 面接相談の全員実施を目指し、体制整備などに取り組む。

認証保育所の整備促進

質問 保育待機児解消には早期開設が可能な認証保育所の整備が有効だが、経営の厳しさなどを理由に整備が進んでいない。運営費補助の増額などにより整備を促せ。

子ども・若者部長 財政的支援の拡充など、さまざまな対策を検討する。

がん検診の受診率向上の取り組み

質問 29年度から胃がん検診に内視鏡検査を導入し検診機会を拡充させることを評価する。がん検診受診率の一層の向上に向け休日などの受診機会の拡充にも取り組め。

保健所長 地区医師会などと連携

し、受診率の向上に努めていく。

地域資源を活用した産業の活性化

質問 区内産業の活性化に工夫して取り組むべきだ。区にゆかりのあるキャラクターであるゴジラやウルトラマン、サザエさんなどの地域資源を積極的に活用せよ。

産業政策部長 まちなか観光の素材として活用し、広く発信する。

外環道の東名以南の整備実現

質問 先の議会で、外環道の東名以南の整備実現に向けた取り組みを求めたが、区長の前向きな答弁がなかった。整備計画の早期具体化を区長みずから区に働きかけよ。

区長 一日も早い具体化に向けみずから先頭に立ち全力で取り組む。

危機管理部門への自衛官の採用

質問 首都直下地震などに備え、危機管理体制を強化すべきだ。危機管理部門の指揮系統を担う職員として、専門的知識や有事への対応経験が豊富な自衛官を採用せよ。

区長 専門的な見識を持つ人材確保への具体的な取り組みを進める。



野毛青少年交流センターフェスティバルの様子

本文中で使用している省略表記

道路・交通部長

防災街づくり部長

防災街づくり担当部長

保健所長 〓世田谷保健所長

障害福祉部長

〓障害福祉担当部長

東京20大会

〓東京20オリンピック・パラリンピック競技大会

会

支所

〓総合支所

世田谷進党・社民党区議団
羽田 圭二 議員



共謀罪の危険性への区長の見解

質問 組織的な犯罪の共謀罪が新設されれば、国民の内心が監視される社会となりがねない。国会議員時代に共謀罪に係る法案の廃案に尽力した区長の見解を示せ。

区長 構成要件の限定などが必須という観点で国の議論を注視する。

社会保険制度の改正に伴う対応

質問 厚生年金などの適用範囲の拡大により労働条件が改善された一方、事業者にとっては保険料の負担増となった。区が契約を締結する際には負担増に十分配慮せよ。

財務部長 事業者の状況を十分認識し、適正な契約の締結に努める。

長時間労働は正のモデルを示せ

質問 過労自殺が社会問題となる中、労働時間の短縮が急務だ。区は区内企業のモデルとなるよう、職員が働きやすい環境を整備せよ。

総務部長 職場の実態を分析しながら働き方の改善に努めていく。

災害時の事業継続に向けた支援を

質問 地域防災力の向上には区内企業との連携が不可欠だ。救出活動などに対する協力を得られるよう、企業における災害時の事業継続計画策定への支援を充実せよ。

産業政策部長 事業継続計画の普及啓発や策定支援に取り組む。

区内の公共交通網の充実に向けて

質問 交通不便地域の解消に向け、区内の公共交通網の充実を図るべきだ。交通事業者を初め、幅広い区民を交えた協議の場を設けて中長期的な視点で取り組みを進めよ。

副区長 協議の場の設置も検討し、中長期的視点で対策に全力を注ぐ。

安心して子育てできる地域社会に

質問 医療的ケアが必要な子どもに対する一層の支援が区に求められている。通所施設や預かり施設などの拡充に全力で取り組め。

障害福祉部長 関係所管と連携し、障害児やその家族の支援に努める。

日本共産党世田谷区議団
中里 光夫 議員



子どもの貧困対策の決意を示せ

質問 安倍政権は子どもの相対的貧困率が低下したと述べたが、中間層の所得が下がり貧困は広がっている。区長は子どもの貧困対策にどう取り組んでいるのか。

区長 次期新実施計画の検討の中で総合的対策を行うよう指示した。

次期新実施計画で考慮すべき視点

質問 国は介護保険制度などの改悪を検討している。区民の福祉と暮らしを守るため、制度改正による区民生活への影響も十分考慮して次期新実施計画を策定せよ。

区長 福祉制度をめぐる環境の変化を踏まえた視点で検討を進める。

区職員の長時間労働の是正

質問 公務員においても長時間労働が問題となる中、区が正規職員をふやしたことを評価する。増員分を新規事業に偏ることなく適正に配置し、長時間労働を是正せよ。

総務部長 適正な定数管理の視点から人員体制などの見直しを図る。

公契約条例の実効性の担保

質問 公契約条例の実効性担保の取り組みが重要だ。条例に係る手引きの作成や事業者の状況を確認する仕組みの構築を図るなど、事業者の条例遵守に向けて工夫せよ。

財務部長 関係団体の意見を聞き、条例に基づく取り組みを進める。

保育施設整備の着実な推進

質問 保育待機児の解消は喫緊の課題だ。保育の質の確保に十分配慮した上で、認可保育園を中心とした保育施設整備に全力を注げ。

副区長 保育の質の確保を前提に、あらゆる手法を駆使して取り組む。

就学援助の一層の充実

質問 就学援助を一層充実すべきだ。小学校入学準備金の支給時期の前倒しはもとより、必要保護世帯の入学準備金の増額に取り組め。

教育次長 他自治体の動向や財政への影響も考慮し、検討を進める。

2月23日及び24日の本会議では、33名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

そのべ せいや議員
(民進社)



男性保育士が働きやすい環境整備

質問 男性の性犯罪率の高さなどを理由に、男性保育士への理解が進みにくい状況だ。心理的な抵抗感の軽減などに努め、男性保育士が働きやすい環境を整備せよ。

答弁 男女を問わず働きやすい職場環境の整備に努めていく。

男性保育士の活躍推進への支援

質問 区は多様性を認め合う社会の実現を目指している。保育現場では女性保育士が圧倒的多数を占めている状況を踏まえ、男性保育士の活躍推進を積極的に支援せよ。

プレミアムフライデーへの対応

質問 月末の金曜日に早めに仕事を切り上げ余暇を創出するプレミアムフライデーの取り組みを国は推進している。働き方改革の視点を踏まえ、区はどのように対応するのか。

上山 なおのり議員
(自 民)



自宅避難への備えの啓発

質問 首都直下地震などを見据え、自宅避難への備えを啓発することも重要だ。食料備蓄の周知に加え、耐震補強の一層の促進や自宅避難マニュアルの作成などに取り組める。

保育園周辺の交通安全対策の強化

質問 保育園周辺では、子どもの飛び出しによる事故が発生する危険性が高い。保護者や近隣住民の協力を得ながら、事故防止に向けた交通安全対策を一層強化せよ。

街路灯設置による安全対策の強化

質問 街路灯の設置は夜間における歩行者の安全確保や犯罪の抑止に効果的だ。商店街による設置が

難しい場所などには区が積極的に設置し、安全対策を強化せよ。

たかじょう 訓子議員
(共 産)



子どもの貧困把握への調査実施

質問 子どもの貧困が社会問題化しているが、相対的な貧困は把握しにくい。他自治体の手法を参考に、総合的な対策に向けて区内の子どもの生活実態を調査せよ。

答弁 都や他区への取り組みを参考に、実態把握の方法を検討する。

子どもの貧困対策に係る計画策定

質問 子どもの貧困対策に係る総合的な計画を策定すべきだ。子ども食堂の運営者や学識経験者など、子どもの貧困の実情に詳しい団体や専門家を交えて検討を進めよ。

答弁 総合的な取り組みを検討するため有識者などにも意見を聞く。

避難行動要支援者への支援の充実

質問 避難行動要支援者は災害時に自分で身を守ることが難しいため、減災への備えが重要だ。家具転倒防止器具や感震ブレーカーなどの普及に向け支援を充実せよ。

答弁 感震ブレーカー設置などに係る補助制度を一層周知していく。

風間 ゆたか議員
(民進社)



悪質な保育事業者の排除

質問 保護者の不安につけ込み、入園辞退者に高額な違約金等を要求する認可外保育施設がある。悪質な事業者が区内で保育施設運営をしないよう、対策に取り組め。

答弁 苦情があった際は都へ改善を要請するなどの対応をしている。

子どもが安心して学べる場の整備

質問 不登校の子どもが通うほつとスクールは小学校低学年児童の受け入れに消極的だ。新たに開設予定の施設は、全ての子どもが安心して学べる場として整備せよ。

答弁 子どもが安心して学び過ごせる環境の確保を念頭に取り組む。

子育てメッセのさらなる発展

質問 毎年多くの親子が参加する子育てメッセは、子育てを始めた親と支援団体等がつながる貴重な場だ。より多くの区民が参加できるように、事業を一層発展させよ。

村田 義則議員
(共 産)



保険料延滞金の徴収方法の見直し

質問 区は巨費を投じ国保料などの全滞納者からの延滞金徴収に向けてシステム改修を行うとしたが、低所得者から徴収すべきではない。費用対効果の点からも再検討せよ。

答弁 運用方法の詳細を検討する中で、作業の工程数の削減を図る。

性的マイノリティーの住まい確保

質問 区民の良好な住生活を営む権利を確認する住宅条例に沿った施策が重要だ。賃貸住宅への入居に係る差別解消を図るなど、性的マイノリティーの支援を強化せよ。

答弁 条例の基本理念を踏まえ区民の住まい確保の支援に取り組む。

新たなコミュニティバスの増便

質問 本格運行が開始された等々力操車所と梅ヶ丘駅を結ぶ新たなコミュニティバスは、南北交通の充実に大きく寄与する。地域の要望を踏まえ、バス増便を実現せよ。

答弁 バス需要喚起への工夫を図り地域要望も事業者に強く伝える。

和田 ひでとし議員
(自 民)



道路事業推進への組織改正の検証

質問 区長は道路事業を推進するため、28年度当初に大幅な組織改正を行った。特に下北沢の道路事業を所管する道路事業推進課の再編の成果をどう評価しているのか。

答弁 事業進展へのさまざまな調整が着実に進んでいると考える。

功労表彰での表彰者の選出手順

質問 区制85周年記念事業で行われる功労表彰は区政に貢献された区民をたたえる重要な機会であり、

表彰される区民にも大きな励みとなる。表彰者の選出手順を示せ。

答弁 庁内推薦などで候補者を選び庁内審査を経て区長が決定する。

通学路の安全点検の継続的な実施

質問 通学路の安全を確保するには、周辺環境の変化を日常的に把握して状況に応じた対策を迅速に講じることが重要だ。区は通学路の安全点検を継続的に実施せよ。

答弁 安全対策の改善や充実などを定期的かつ継続的に実施する。

岡本 のぶ子議員
(公 明)



教職員の負担軽減への取り組み

質問 配慮を必要とする子どもの学校生活を支援する支援要員や介添員の確保が教職員の大きな負担となっている。採用募集に係る事務を外部委託し、負担軽減を図れ。

答弁 外部委託について、幅広く研究や検討を行っていきたい。

母子健康情報の早急な電子化

質問 区は母子健康情報を紙媒体のみで管理しており、統計資料の作成などの業務が非効率であるばかりか、情報の消失の危険性も高い。情報を早急に電子化せよ。

答弁 システムの構築に向け、関係所管で連携して検討していく。

避難所運営への女性の参画促進

質問 東日本大震災などの被災地では、女性への配慮が不十分な避難所があった。これを教訓に、避難所運営の意思決定の場に多くの女性が参加できる体制を構築せよ。

答弁 避難所運営組織への研修などを行い、女性の参画を促進する。

高岡 じゅん子議員
(生 産)



多様性を認め合う地域社会の実現

質問 多様性を認め合い、自分らしく暮らせる地域社会を実現すべきだ。ヘイトスピーチとヘイトクライムの根絶やマイノリティーへの偏見の是正に積極的に取り組め。

答弁 差別的障壁を乗り越えていく姿勢を強め、区民に発信したい。

下北沢小の学校運営のビジョン

質問 下北沢小と北沢小の統合に向けた具体的なスケジュールが示された。新たな校舎でのスタートとなるが、どのようなビジョンを持って学校運営に取り組むのか。

答弁 学校や家庭、地域と連携して魅力ある学校運営に取り組む。

他自治体と連携した災害対策強化

質問 災害対策として福祉避難所の確保は重要だが、区内事業者との連携だけでは限界がある。災害時協力協定を締結している自治体に受け入れへの協力を働きかけよ。

答弁 関係所管で連携し、受け入れ協力に関する検討を進めていく。

小泉 たま子議員
(希 望)



切れ目のない子ども施策の展開

質問 区の子ども施策は教育委員会と子ども・若者部でばらばらに展開されている。区は切れ目のない施策を進めていくと言っているのであれば、双方の一体化に取り組め。

答弁 組織の一体化はできないが、共通認識を持つて施策に取り組む。

地区の強化に向けた責任者の配置

質問 地域包括ケアシステムの地区展開に合わせ、区民のあらゆる申請や相談を受けとめられるよう、地区の体制を強化すべきだ。全地区に責任者となる職員を配置せよ。

答弁 まちづくりセンターの所長が力を発揮できるよう取り組む。

窓口のあり方の抜本的な見直し

質問 区は福祉の相談に地区で対応する一方、申請手続きができない総合窓口を支所のみを設置しようとするなど施策に一貫性がない。

答弁 総合窓口実施後の状況などを踏まえ区民満足度向上に努める。

河村 みどり議員
(公 明)



パラリンピック教育の充実

質問 子どもへの教育を通じて大人の障害者理解を促すリバーシエデュケーションは有効だ。東京2020

大会を見据え、この手法で区立校のパラリンピック教育を充実せよ。

答弁 オリンピック・パラリンピック教育の充実にも努めていく。

区立校トイレの洋式化の推進

質問 学校のトイレの洋式化を望む声は多いが、区立校での洋式化は進んでいない。都が洋式化への補助を行う方針を示したことを踏まえ、早急に改修に取り組め。

答弁 学校のトイレの洋式化を加速していきたいと考えている。

高齢者への買い物支援の充実

質問 高齢化が進展する中、買い物支援は高齢者の外出機会の確保などにもつながる重要な施策だ。地域包括ケアシステムの中で、民間と連携して支援を充実せよ。

答弁 先進事例も参考に、安心して暮らせる地域づくりに取り組む。

河野 俊 弘議員
(自 民)



企業主導型保育事業の活用促進

質問 子育てと仕事の両立支援への取り組みは重要だ。企業が従業員のための保育園を設置する際の費用を助成する国の企業主導型保育事業を区内企業に周知徹底せよ。

答弁 産業団体と連携しながら区内中小企業への周知に取り組む。

介護と仕事の両立支援の取り組み

質問 介護のために仕事をやめざるを得ない人は多く、対策が急務だ。育児と介護を同時に担うダブルケアへの支援も視野に、区は二一ス調査を早急に実施せよ。

答弁 産業と福祉の部門が連携し、課題などの調査の実施を検討する。

区民後見人養成研修制度の見直し

質問 成年後見制度の必要性が高まる中、区民後見人を一層確保できるよう養成研修制度を見直すべきだ。大学の関連講座受講者は科目を一部免除するなど、工夫せよ。

答弁 科目を免除するなどの見直しは、今後の研究課題としたい。





代表質問、一般質問の模様を
ホームページで録画配信しています。
世田谷区議会 議会中継 で検索！

桜井 稔議員
(共産)



三軒茶屋のまちづくりの到達点

【質問】 三軒茶屋駅周辺地区が広域生活・文化拠点としてより魅力的なまちになるようまちづくりを一層進めるべきだ。区はまちづくりの到達点をどう認識しているのか。

【答弁】 広域生活・文化拠点にふさわしい魅力ある三軒茶屋を目指す地域と行う三軒茶屋のまちづくり

【質問】 三軒茶屋2丁目地区では、再開発の事業化に向けた活動が進められている。区は活動を支援し、地域の声を十分踏まえて三軒茶屋駅周辺地区のまちづくりを進めよ。

【答弁】 まちづくりの方針策定の際には地元の声を聞き、取りまとめる。

地域密着型特養ホームのあり方

【質問】 地域密着型特養ホームの運営方法を工夫すべきだ。下馬に整備予定の施設では、家族や友人が気軽に立ち寄れる地域に開かれた運営を行うよう事業者に求めよ。

【答弁】 地域に開かれた運営が行われるよう取り組みを支援する。

田中 みち子議員
(生 産)



心のバリアフリーの推進

【質問】 障害があるだけで入店を拒むなど、心ない対応を行う事業者があると聞く。心のバリアフリーの推進に向け、障害者団体と連携して商業施設などへの啓発を行え。

【答弁】 障害者団体などと連携し、心のバリアフリーの推進に努める。

五輪のメダルは「都市鉱山」で

【質問】 東京2020大会の組織委員会が、メタルの原料にリサイクル金属を活用するため小型家電回収を始め、持続可能な社会への機運醸成も視野に、回収を一層周知せよ。

【答弁】 都と連携して区民に広く周知し、資源の回収に協力していく。

手話の普及に向けた環境の整備

【質問】 障害者基本法では言語に手話を含むことが明記されているが、日常生活での普及は進んでいない。

阿久津 皇議員
(希 望)



火災延焼を防ぐ道路の整備推進

【質問】 区は29年度予算案で道路予算を減額したが、火災延焼を防ぐには延焼遮断帯となる道路の整備が不可欠だ。整備先送りは区民の命を危険にさらすことを認識せよ。

【答弁】 道路ネットワークの早期整備に計画的かつ効率的に取り組む。

民間と連携した消防水利の確保

【質問】 糸魚川市の大規模火災では、消防用水の不足が深刻な被害を招く一因になったと聞く。これを教訓に、災害時の消防水利の確保に係る民間との協力体制を強化せよ。

【答弁】 民間の協力も得て、防火水槽の設置場所の確保に努める。

児童相談所設置を見据えた対応

【質問】 区は児童相談所の設置に向けた取り組みを進めている。設置に際しては、児童館や区立校などと緊密な連携を図り、児童虐待に即座に対応できる体制を構築せよ。

【答弁】 総合的かつ効果的な児童相談行政の実現を目指していく。

上川 あや議員
(虹)



区営住宅管理条例改正案への誤解

【質問】 区の条例改正案の趣旨を「同性カップル優遇」と見る議論は誤りだ。パートナーが同性でも平等な応募資格を認め差別の解消を図るものであるとの理解でよいか。

【答弁】 同性をパートナーとする区民に応募要件を認めるものである。

同性カップルへの差別は現に存在

【質問】 区は議会に不動産会社での差別事例は未把握と説明したが、同性カップルが区に出した要望書には不動産会社での差別事例も明記されている。答弁を訂正せよ。

【答弁】 男同士に貸せないと言われ、管理費を倍払った例などを聞いた。

「なりすまし」への懸念も杞憂だ

【質問】 区営住宅での同性カップルの申請受け付けに関し、なりすましなどの懸念も指摘されているが、男女の事実婚に比べても慎重かつ綿密な審査だ。審査の詳細を示せ。

【答弁】 申述書などで双方の継続的な共同生活の有無などを確認する。

板井 斎議員
(公 明)



混合介護の導入に向けた取り組み

【質問】 介護保険と保険外のサービスを一体的に提供できれば、利用者の利便性向上や事業者の事業機会拡大につながる。都と連携して混合介護のモデル事業を実施せよ。

【答弁】 区民や事業者からの意見を聞いた上で、検討していきたい。

奥沢駅における安全対策の強化

【質問】 連絡通路がない奥沢駅では、ホーム間の移動の際に踏切を無理に渡る姿が見られる。事故防止に向け、都や東急電鉄と技術面での検討会を設置して対策を進めよ。

【答弁】 関係機関で連携し、技術的検証も含めて問題解決に取り組む。

障害に応じた学習指導の徹底

【質問】 特別支援学級に通う子どもの自尊心を尊重した教育を推進することが重要だ。一部の区立中で障害の程度に応じた学習指導が行われていない現状を即刻改善せよ。

【答弁】 可能な限り個に応じた指導を取り入れるよう学校に周知する。

青空 こうじ議員
(無所属)



14歳の成人式の充実

【質問】 区立中2年生の代表生徒がよりよい学校生活に向けて議論し、1年生へ発表を行う14歳の成人式は、子どもの成長に大きく寄与する取り組みだ。一層の充実を図れ。

【答弁】 中学生が主体的に取り組む活動がさらに充実するよう努める。

弁当方式給食の具体的内容

【質問】 31年度の太子堂調理場の大規模改修期間中に、区は事業者への委託により弁当方式給食を一部

の区立中で提供する方針を示した。

【答弁】 弁当方式給食の具体的内容を示せ。

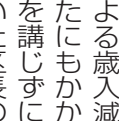
【答弁】 調理した給食を弁当箱に盛りつけて学校に届ける方式である。

弁当方式給食の献立のあり方

【質問】 弁当方式給食の実施校においても生徒が喜ぶ給食の提供に努めるべきだ。区は献立作成にかかわり、生徒の要望を反映するリンクエスト給食を引き続き実施せよ。

【答弁】 献立について区がかかわり、リンクエスト給食などを行っていく。

あべ 力也議員
(減 税)



ふるさと納税2年で123億円流出！

【質問】 ふるさと納税による歳入減への懸念を再三指摘したにもかかわらず、具体的な対策を講じずに123億円の財源流出を招いた区長の責任は重大。早急に対策を講じよ。

【答弁】 税源流出に歯止めをかけるため、効果的な対策に取り組む。

学校給食費の無償化を検討せよ！

【質問】 家庭の経済状況による教育格差の是正に向けた取り組みが必要だ。クラウドファンディングなどの手法を活用して財源を確保し、学校給食費の無償化を実現せよ。

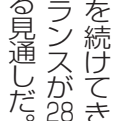
【答弁】 財源確保などの課題があり、関係所管で連携して検討していく。

ご当地原付ナンバープレート導入

【質問】 区は世田谷ナンバーへの図柄入りナンバープレートの導入を目指し、取り組みを進めている。区への愛着醸成や一層の観光振興に向け、原付自転車にも導入せよ。

【答弁】 課題を整理し、先行自治体の事例も参考に検討していく。

ゆさ 吉宏議員
(自 民)



財政健全化に向けた取り組み

【質問】 9年度以降黒字を続けてきた区のプライマリーバランスが28年度から赤字に転落する見通しだ。行財政改革を着実に進め、財政を一刻も早く黒字体質に転換せよ。

【答弁】 公債費削減に向け工夫するなど、適切な財政運営に努める。

重度障害者への支援の充実

【質問】 重度の障害がある子どもを持つ保護者の多くは子どもの将来に不安を抱えている。今後整備予定の障害者グループホームでは、重度障害者を確実に受け入れよ。

【答弁】 上北沢に整備中の障害者施設で入居について調整予定である。

障害者向けミドルステイの充実

【質問】 保護者が高齢となり入院した際などに障害がある子どもを支える環境を充実すべきだ。梅ヶ丘拠点に整備予定のショートステイ施設でミドルステイを可能とせよ。

【答弁】 運営事業者とサービスの枠組みを整理する中で協議していく。

佐藤 美樹議員
(希 望)



防災マップアプリの多言語対応

【質問】 災害時に外国人が避難に必要な情報をスマートフォンから的確に収集できるよう、情報発信手法を充実すべきだ。区の防災マップアプリを多言語に対応させよ。

【答弁】 アプリを含め、多言語での防災情報の提供を検討していく。

避難所運営に係る基準の明確化

【質問】 避難所を開設する際の応急危険度判定や下水道の使用可否の判断に係る共通の基準が示されていない。避難所運営マニュアル標準版に明記し、周知を徹底せよ。

【答弁】 取り扱いなどを掲載し、避難所を運営する人に周知していく。

官民連携担当課の職員体制の工夫

【質問】 官民連携を効果的に推進するため、新設予定の官民連携担当課の職員体制を工夫すべきだ。任期付職員制度を活用し、民間の優秀な人材を期限つきで採用せよ。

【答弁】 どの場面で登用するのが効果的かなどの検証を重ね検討する。

ひうち 優子議員
(世田谷)



二子玉川の無堤防地区の安全対策

【質問】 二子玉川駅周辺は23区内唯一の無堤防地区になっている。大型台風などによる多摩川の氾濫に

備え、駅周辺の無堤防地区に対する堤防整備の早期実現に尽力せよ。

【答弁】 早期に堤防などが整備されるよう、国に要望していく。

桜新町保管所を駐輪場に転用せよ

【質問】 桜新町駐輪場の利用者から、駐輪場が混雑しており利用しづらいとの声を聞く。スペースの拡大に向け、桜新町の放置自転車保管所の一部を駐輪場に転用せよ。

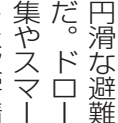
【答弁】 自転車の放置台数や撤去台数の推移を見ながら検討したい。

コミュニティサイクルの拡大

【質問】 コミュニティサイクルの利用率の向上に向けて一層取り組むべきだ。大きな需要が見込まれる下北沢や自由が丘、二子玉川の駅周辺にサイクルポートを設置せよ。

【答弁】 あらゆる機会を捉え、ポート用地の確保に努めていく。

藤井 まな議員
(民進社)



災害時の円滑な避難への取り組み

【質問】 災害時の区民の円滑な避難を促す取り組みが重要だ。ドローンによる被害情報の収集やスマートフォンアプリを活用した被害情報発信を行うなど、工夫せよ。

【答弁】 関係機関から情報を収集して提供する仕組みなどを研究する。

医療的ケアが必要な子どもの支援

【質問】 医療的ケアが必要な子どもに対する支援を強化すべきだ。区立幼稚園や区立小に看護師を配置し、子どもが保護者の付き添いなしでも学べる体制を構築せよ。

【答弁】 医療的ケアの実施のあり方を多様な観点から検討していく。

補助金のさらなる活用

【質問】 地方創生推進交付金等、活用されていない補助金が多くある。他区ではコミュニティ助成事業の助成金で神輿の修繕事例等もある。さらなる補助金の活用に取り組み。

【答弁】 地方創生推進交付金なども含め、最大限の活用を努めていく。



加藤 たいき 議員
(自 民)



入札に係る予定価格の正確な積算

質問 公共工事の入札においては、予定価格を正確に積算することが重要だ。設計事業者の積算内容の検証を別の事業者に委託するなど、チェック体制の強化に取り組み。

答弁 29年度予算案に第三者の積算検証業務に係る経費を計上した。

財政負担に配慮した保育士確保策

質問 家賃補助などの区の保育士確保策は有効だが、財政負担の増加にもつながる。負担を伴わない施策として、保育士の子どもへの認可保育園の優先入園枠を設けよ。

答弁 保育の利用に係る基準の見直しについて具体的検討を進める。

教員の災害時用装備の工夫

質問 災害時に学校で円滑な対応が図られるよう工夫すべきだ。地域住民と教員がお互いを一目で見分けられるよう蛍光色のベストやジャンパーなどを教員に支給せよ。

答弁 訓練時や災害時における装備について、関係所管で協議する。

すがや やすこ 議員
(SDJ)



Wi-Fi利用に係る注意喚起

質問 区が整備を進めているWi-Fi環境は誰でも利用できる反面、利用時に情報が盗まれる危険性もある。重要情報の送受信などは控えるよう注意喚起を徹底せよ。

答弁 ホームページを活用し、利用者への継続的な周知に努める。

東京2020大会に向けた安全対策

質問 東京2020大会開催期間中に多数の観光客が区を訪れることで、犯罪の発生も危惧される。特に馬事公苑や大蔵運動公園周辺地域の安全対策に徹底して取り組み。

答弁 大会組織委員会との役割分担を明確にして、適切に対応する。

学校の校庭芝生化の積極的な推進

質問 校庭の芝生化は現在一部の小中学校にのみ導入されている。児童・生徒の教育環境の向上や部

活動の活性化のためにも、人工芝を含めた校庭芝生化を一層進めよ。

答弁 新しい工法や技術を注視し、研究しながら校庭整備を進める。

石川 ナオミ 議員
(自 民)



狭あい道路の拡幅整備の促進

質問 災害時に円滑に消火活動などを行うには狭あい道路の解消が不可欠だ。29年度からの拡幅整備に係る新たな支援制度の開始を機に、拡幅整備促進に一層取り組み。

答弁 積極的に働きかけを行いこれまで以上に拡幅整備を促進する。

恵泉裏通りの整備に向けた道筋

質問 恵泉裏通りの整備に向けて区は法に基づく土地収用手続を進めてきており、都収用委員会より明渡裁判がなされたとの報告があった。今後どう整備を進めるのか。

答弁 現在、裁判に基づく土地の明け渡しを相手方に求めている。

医療的ケアが必要な子どもの支援

質問 医療的ケアが必要な子どもへの支援は拡充されつつあるが、真に必要な支援と少し隔たりがあるとの声も聞く。区はニーズを見きわめ、的確な支援策を講じよ。

答弁 家族などの意見を聞き、関係機関と連携して支援充実を図る。

中塚 さちよ 議員
(民進社)



本庁舎整備の設計者選定のあり方

質問 本庁舎整備の設計者はプロポーザル方式で選定される予定だ。実施要領の作成に際しては、さまざまな強みや特徴を持った幅広い事業者が応募できるように工夫せよ。

答弁 設計者審査委員会で幅広い中から選ぶ方向で議論されている。

路上喫煙対策の効果的な啓発

質問 区は路上喫煙対策の強化に向けたルールを策定予定だ。区民一人一人の意識と行動を変えるべく、幅広く区民参加を得られる仕組みを構築し、ルール普及を図れ。

答弁 区民から広く意見を聞き、効果的な普及方法を検討していく。

介護認定審査事務に係る負担軽減

質問 高齢化による介護認定審査の対象者の増加を踏まえ、事務負担を軽減すべきだ。関連システムの改修に際し、認定調査で使うマーカーシートの使い勝手を改善せよ。

山内 彰 議員
(自 民)



消防団の設備充実への取り組み

質問 区内には狭い道が多いため、消防団に小型車両が十分に配備されることで、地域防災力の向上が図られる。消防団の設備充実に向け、支援強化を都に強く求めよ。

答弁 都からの消防団に係る諮問への答申作成の中で検討を進める。

馬術競技の普及啓発

質問 東京2020大会の開催に際し、区内で馬術競技が行われる。馬術競技で活躍する著名人の協力を得て競技の普及啓発を行い、区民の馬術競技に対する関心を高めよ。

答弁 あらゆる機会を捉え、関係団体と協力して普及啓発を行う。

校内の安全対策の強化

質問 通学路だけではなく校内の安全対策も強化すべきだ。教員の日常点検に加え、PTAや地域住民とも連携し、事故につながる危険箇所が校内にないかを点検せよ。

答弁 安全教室などの際の点検がより効果的になるよう努める。

真鍋 よしゆき 議員
(自 民)



芦花公園における土壌汚染の状況

質問 芦花公園で土壌汚染が発覚したことにより公園の一部が閉鎖され、地域住民は不安を抱き、不便も感じている。土壌汚染の程度と人体に及ぼす影響を詳細に示せ。

答弁 大人が70年居住し1日100mg土壌を口にしている影響がない。

保育待機児解消に向けた取り組み

質問 保育関連経費の見直しは28年度約374億円、29年度約456億円と年々ふえており、社会保障制度と

しての育休の活用を促進する視点も重要だ。取り組み状況を示せ。

答弁 ゼロ歳児は育休明け予定と有償受託の選考指数を同点にした。

特養ホームの整備促進

質問 特養ホームの整備では、土地所有者が建物を建設して運営法人に貸与する手法が認められたが、税の優遇措置がなく、整備の障害となっている。区の対応を問う。

答弁 税の優遇措置などの適用に向け国や都に引き続き働きかける。

田中 優子 議員
(F 行革)



せたがやバンドバトルでの不手際

質問 せたがやバンドバトルで、3組のバンドがグランプリを受賞する形で終了したにもかかわらず、後日受賞が取り消される事件があった。元に戻すべきではないか。

答弁 受賞者なしという審査員の決定は、尊重すべきものと考ええる。

バンドバトルでの失態の原因究明

質問 バンドバトル主催者の文化財団は、授賞式での失態と不適切な事後対応により信頼を大きく損なった。財団を指導する立場にある区長は徹底的に原因を究明せよ。

答弁 このような結果を招いた原因を究明するよう所管に指示する。

ギャンブル依存症対策の強化

質問 ギャンブル依存症対策は喫緊の課題だ。パチンコ店が区内に点在していることを踏まえ、町会や自治会、商店街などとも連携し、全庁を挙げて対策に取り組み。

答弁 ポスターなどを活用し区民に周知するなど予防啓発に努める。

大庭 正明 議員
(F 行革)



梅ヶ丘拠点整備運営事業者の実態

質問 梅ヶ丘拠点の民間施設棟の整備運営事業者について、区は主に福祉事業を行う事業者のようについて説明している。実際は医療施設の経営が主体の事業者ではないのか。

答弁 南東北病院グループのうちの2法人で構成する事業者である。

梅ヶ丘拠点の民間施設棟の機能

質問 区は梅ヶ丘拠点の民間施設棟に福祉施設を整備すると説明したが、整備運営事業者はリハビリ病院併設施設を開設するとしている。病院が主体的機能となるのか。

答弁 施設の一部に回復期リハビリに関する病院機能が整備される。

梅ヶ丘拠点の整備費用の精査

質問 梅ヶ丘拠点の区複合棟の建設費見込み額は、延べ床面積が同程度の民間施設棟と比べ、構造の違いを考慮してもはるかに高額だ。経費をしっかりと精査したのか。

答弁 環境配慮や災害時の機能などに係る経費が差額の要因である。

佐藤 弘人 議員
(公 明)



メンテナンス産業への支援充実

質問 老朽化が進むインフラの更新や長寿命命化に的確に対応する上で、設備などの維持や補修を行うメンテナンス産業を区内で育成することは重要だ。支援を充実せよ。

答弁 建設業にかかわる産業施策のあり方について検討を進める。

災害時の帰宅困難者対策の強化

質問 首都直下地震などの災害が発生した際には、区内でも多数の帰宅困難者が発生することが見込まれる。国の補助を最大限活用し、受け入れ拠点の整備に取り組み。

答弁 国などの財源も活用し、受け入れ施設の整備に取り組み。

良好な景観形成に向けた取り組み

質問 区内の良好な景観形成に向けた取り組みを強化すべきだ。世田谷トラストまちづくりを景観整備機構として指定し、景観形成に資する施策の一層の展開を目指せ。

答弁 行政との役割分担を明確にした上で、指定への検討を進める。

桃野 よしふみ 議員
(F 行革)



国保料不納欠損額の縮減への対策

質問 滞納者への差し押さえなどの事務が滞っていることが、国保料不納欠損額が減らない主な要因

だ。保健福祉部全職員を保険料収納課兼務とし、滞納処分を進めよ。

答弁 専門性の高さなどから課内に専任職員を確保すべきと考ええる。

国保料不納欠損額の部長の認識

質問 区の27年度の国保料不納欠損額は約25億円にも上り、そのうち時効消滅が約18億円も占める状況だ。所管部長はこの事態を責任者としてどう認識しているのか。

答弁 不納欠損額が多いことに対し、大変申し訳なく思っている。

滞納処分事務経験者の有効活用

質問 区は専門性を理由に部内全職員兼務での滞納処分への対応は難しい旨を答弁したが、国保・年金課には滞納処分事務の経験者が多くいる。経験者を有効活用せよ。

答弁 専門性に加え、実務の積み重ねも重要だと考えている。

行政評価の抜本的な見直し

質問 区の行政評価は事業継続の可否の判断に十分生かされていない。行政評価の意義を庁内で共有した上で手法を抜本的に見直し、予算査定に評価結果を反映せよ。

答弁 行政評価制度と予算編成手法の一層の連携と充実を目指す。

官民連携による区政課題の解決

質問 区は官民連携を進めるため、専管部署を設置予定だ。公共交通不便地域解消など、優先度が高く、区だけでは解決困難な課題に対し、民間活力を導入して解決を図れ。

答弁 行政課題の解決に向け、官民連携の取り組みを進めていく。

民間との人事交流の実施

質問 官民連携を効果的に進めるには、職員が民間の仕事の進め方を体感することが重要だ。官民連携事業を一層発展させ、幹部職員も含めた民間との人事交流を図れ。

答弁 効果的な手法を検討し関係所管で連携して取り組みを進める。



会派等の意見

29年度予算を審査するため、議長を除く49名的全議員で構成する予算特別委員会を設置し、3月8日から3月23日の間、延べ7日間にわたり質疑を行いました。ここでは、予算特別委員会での質疑や要望、今定例会最終日に表明された29年度予算に対する各会派等の意見の一部を要約してお伝えします。

本会議での意見表明者

自由民主党世田谷区議団：右川 征男議員
公明党世田谷区議団：河村みどり議員
世田谷民進党・社民党区議団：中村公太郎議員
日本共産党世田谷区議団：中里 光夫議員
無所属・世田谷行革110番：桃野よしふみ議員
せたがや希望の会：小泉たま子議員
生活者ネットワーク
世田谷区議団：田中みち子議員
減税せたがや：あべ力也議員
レインボー世田谷：上川あや議員
せたがやすこやかプロジェクト：すがやすこ議員
世田谷無所属：ひうち優子議員
無所属：青空こうじ議員

区長は拙速な事業展開を猛省し地に足をつけた区政運営を行え

―自由民主党世田谷区議団―

（全ての会計に賛成する意見）

今後も一層の多様化や複雑化が想定される行政需要に的確かつ迅速に対応するには、国や都を初めとしたさまざまな関係機関の協力を得ることが不可欠であることを我々は再三申し上げてきた。そのためには日ごろから礼を尽くし、強固な信頼関係を構築しておくことが必要なのは明らかだ。

2月に東名ジャンクション予定地で開催された外環道シールドマシン発進式には国や都を初め、世田谷区議会議長や区議会の特別委員会の委員などこれまで外環道整備に携わってきた多くの関係者が出席した。しかし、保坂区長は地元自治体の首長であるにもかかわらず、5年前の外環道の着工式に続き、今回の式典も欠席した。区長が欠席した理由は区民生活を守るための重要路線である補助54号線の整備にストップをかけたとき

と同様に一部の支援者に配慮したのか、あるいは重要な用事があったのか、その真意は不明だ。

保坂区長は3月に国を訪問し、外環道の東名以南の早期整備を要望したと聞いている。しかし、国から招待された大事な式典を2度にわたって欠席するなど失礼な行為を繰り返す区長の要請を国が真摯に受けとめ、整備に積極的に取り組むのかは甚だ疑問だ。

保坂区長は意見が合う他自治体の首長とは自治体間連携と称して積極的に行動をとみにしているが、それだけでは約90万人の区民を抱える自治体の首長は務まらない。公人であることを自覚し、時には自身の政治信条に反してでも区民の期待に応えるために関係機関との良好な関係の構築に力を注ぐべきであり、その姿勢こそがリーダーである区長には求められている。さまざまな議論があった今議会を保坂区長に倣い漢字一文字で表現するのであれば「拙」という漢字が適切だ。この文字からは「拙速」という言葉が真っ先に連想される。その「拙速」という言葉に象徴されるものが、今議会に区長から提出された区営住宅管理条例ほか2件の条例の改正案だ。議会での議論が尽くされていないばかりか、区民周知も不足しているなどの理由により、閉会中の継続審査とすることが都市整備常任委員会で全会派一致で可決されたことから、改正案の提出が拙速であったことは疑う余地がない。

ほかにも、ぶらっとホーム世田谷の突然の移転決定に加え、常任委員会でモデル実施を報告してからわずか1カ月半後のコ・ワーキング・スペース事業の断念など、最近の区政運営が区長の拙速な判断のもとで進められていると感じるのは、我々だけではないはずだ。本庁舎整備を初め、区長は自身にとって都合の悪い課題には「区民の声を聞いてから」との言葉を盾にして重要な決断を先送りにす

る一方、関心の高い分野においては次々と拙速な事業展開を図るなど、一貫性に乏しい区政運営を進めている。そんな区長のもとで従事せざるを得ない影響からか、最近の区職員には余裕がなく、疲弊しきっているように見える。かつては、区職員が自分の仕事に誇りを持って庁内で活発に議論を行い、想定される課題を一つ一つ丁寧に解決し、世田谷らしい特色ある事業を展開していた。しかし、今や区職員は主体性に欠け、十分な庁内調整を行うことなく、区長の指示通りにとりあえず期限内に事業を立ち上げるという受動的な姿勢や考え方が蔓延している。そのため、事前に想定できる単純な課題や既に議会から指摘されていた課題の解決策を事業の開始後に模索するなど、対応が後手に回り、再三の修正を加える場当たり的な事業執行が常態化している。

区長がこのように区政運営で迷走を繰り返し、自治体運営の根幹である健全財政の維持や都市基盤整備の推進、危機管理体制の強化などの課題に対してその場しのぎの対応を続けるのであれば、最も迷惑をこうむるのが区民であることは火を見るよりも明らかだ。

「区政の停滞を招いている保坂展人区長に対し議会の存在を軽視する言動を改めることを求める決議」の可決から1年が経過したが、区長は今議会での唐突な議案提出など、いまだに議会軽視と言っても過言ではない拙速な行動を繰り返している。我々は、区長が自身の行動を猛省して地に足をつけた区政運営を行うよう求める。

我々は、区民生活を守ることを最優先とし、今以上に区政を混乱させてはならないとの思いから、29年度予算には賛成するが、行政経営改革に消極的な姿勢を崩さない保坂区長のもとで肥大化していく予算の執行状況、組織のあり方については、今後も厳しく指摘していく覚悟である。

区長は危機的な財政状況を認識し行政経営改革に全力で取り組み

―公明党世田谷区議団―

（全ての会計に賛成する意見）

東日本大震災から6年が経過したが、いまだに多くの被災者が避難生活を余儀なくされている。我々は被災者一人ひとりに寄り添いながら復興支援に取り組んでいく。

区は行政経営改革の姿勢すら見えない過去最大規模の29年度予算を示したが、区のプライマリバランスは28年度から赤字に転落し、黒字化への道筋が全く見えない見通しだ。区長は区の財政が危機的な状況にあることを認識し、今こそ民間活力の導入を初めとした行政経営改革に全力で取り組め。

以下、我々が最重要課題と考える施策について意見を述べる。

第1に、地域包括ケアシステムについてである。砧地区のモデル実施から3年が経ったが、区の目指す方向性と現場の認識が大きく異なるのは問題だ。地区が責任を持つて地域包括ケアを推進できるよう、まちづくりセンター所長を管理職として位置づけ、地区を主役とした組織構造に転換せよ。

第2に、教育総合センターと特別支援教育についてである。33年度に開設予定の教育総合センターの構想には特別支援教育に係る機能が具体的に示されていない。教育と福祉と医療の円滑な連携を図り、幼稚園や保育園、小中学校における特別支援教育の推進を支援する機能をセンターに整備せよ。

第3に、三軒茶屋の施設整備についてである。再整備に当たり、まず行うべきことは、分散している就労支援や産業振興、男女共同参画に係る機能の一元化だ。重複事業の統合により、産業振興と就労支援の一体的な推進やコスト削減が可能かどうかを見きわめ、我

々は再整備の是非を判断していく。

第4に、官民人事交流制度についてである。首都直下地震などへの対策を含め、多様化かつ高度化する行政ニーズに的確に対応するため、災害や危機管理を初め、法務や財務、観光政策などの特定分野の専門知識を持つ人材を積極的に活用すべきだ。新設の官民連携担当課での実施を軸として民間と

の人事交流に積極的に取り組め。第5に、観光政策についてである。区が設立したまちなか観光交流協会の施策には、インバウンドの視点がなく、我々が求めてきた観光協会の設立による戦略的な政策の推進とは大きく隔たりがある。東京20大会の開催を見据え、民間の知恵と活力を結集してビジネスの視点を取り入れた観光政策を推進し、区の魅力を広く発信せよ。

最後に、性的マイノリティーについてである。性別を理由とする差別のない社会の実現に向けた法制について、成案を得ることが急務だ。そのためには当事者への偏見をなくし、理解を広げるための啓発が重要と考える。しかし、区のパートナーシップ宣誓の取り組みは要綱に基づいて実施しているため、議会での議論が不十分であるばかりか区民参加もきわめて限定的だった。まずは性の多様性の尊重に向けた条例制定に着手せよ。

柔軟な視点で区政課題を検証し福祉施策や教育施策を充実せよ

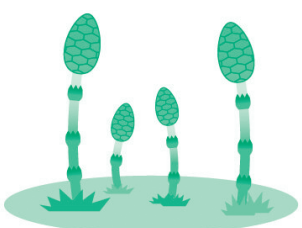
柔軟な視点で区政課題を検証し福祉施策や教育施策を充実せよ

―世田谷民進党・社民党区議団―

（全ての会計に賛成する意見）

我々は29年度予算に賛成するが、今後も適切な区政運営が行われるよう、以下意見を述べる。

三軒茶屋の公共施設整備に係る計画には、多くの会派から疑問が呈されている。計画内容を十分精査するとともに、整備に際し、福祉の総合的な相談窓口を設置せよ。





予算特別委員会の模様をホームページで録画配信しています。

世田谷区議会 議会中継で検索！

29年度予算に対する

区民の切実な要望を十分受けとめ福祉施策の充実に全力で取り組め

―日本共産党世田谷区議団―

（国保会計と後期高齢者会計には反対、一般会計と介護会計と給食会計には賛成する意見）

切実な区民要望に応え、保育園や高齢者施設の積極的整備、精神障害者への福祉手当の支給などを盛り込んだ29年度予算を評価する。本庁舎整備などに伴う巨額の財政支出が見込まれることを踏まえ、不急の大型開発事業の延期や縮小、中止などを決断するとともに、新教育センターや三軒茶屋への公共施設の整備などは慎重に検討せよ。30年度から始まる国保の広域化を見据え、多子世帯の国保料の負担軽減など、山積する課題の解決に向けて都としっかりと協議せよ。

以下、区政課題に対し要望する。住宅耐震化を促進するとともに、耐震シエルトや感震ブレーカー、家具転倒防止器具の普及啓発を強化せよ。一日も早く保育待機児を解消し、保育の質の向上にも尽力せよ。世田谷版ネウボラの体制強化に向け、保健師の確保に努めよ。子どもの相対的貧困の実態把握に向けた調査を早急に実施せよ。地域密着型特養ホームや小規模多機能型居宅介護事業所の整備に全力を注げ。梅ヶ丘拠点の整備に当たっては、精神障害者などの意見を十分反映せよ。道路や橋梁の改修や狭あい道路の解消に着手に取り組め。交通不便地域の解消を図れ。同性カップルの区営住宅への申し込みを可能とする条例改正案が議会への説明不足などを理由に継続審議となったことは大変残念だ。原因の一つに行政の準備不足があった。区民の期待に応えられるよう、執行体制の強化に取り組め。

区長は放漫財政を早急に改めよ

―無所属・世田谷行革110番―

（一般会計には反対、その他の会計には賛成する意見）

区長は切れ目のない支援と称し、自身の実績を喧伝する一方で、持続可能な財政基盤の確立という重要課題から逃げ続けている。しかも今後生じる巨額の財源不足を認識しながら、自身の著書では財政健全化を達成したかのように述べ、区民の印象を操作している。今必要なのは行政改革であり、区長の放漫財政により子ども医療費助成などの真に必要な施策が維持できなくなることは許されない。財政健全化を進める上では外郭団体の改革も喫緊の課題だ。しかし、日常生活支援事業で十分な成果を上げられていない社会福祉協議会や主催事業での不手際で区民の信頼を失った文化財団に対し、区は団体の言い分をうのみにして適切な指導に取り組んでいない。保坂区政には持続可能な財政基盤の確立への姿勢が全く見えないため、一般会計予算に反対する。

信頼できる区政運営に尽力せよ

―せたがや希望の会―

（全ての会計に賛成する意見）

地区の防災力強化に向け、実効性が高い防災計画策定への支援に尽力せよ。防災への啓発などにおける商店街との連携を強化せよ。子育てと仕事の両立支援に向け、育児が可能な範囲で働きたいと考える二丁ズの実態を十分把握せよ。性的マイノリティーの権利を守る包括的な条例を制定せよ。公共施設整備では、整備の必要性と緊急性を十分検証し、教育総合センターの整備計画は見直せ。申請を受け付けるだけの総合窓口を、人員をふやしてまで支所のみに開設することは、区民に負担を強いるだけであるため反対する。三軒茶屋駅周辺の施設整備では、施設の借り上げを前提とする理由が不明確であるばかりか、本来区

が担うべき検討作業の一部を事業者に負わせている。即刻見直せ。区は将来を見据えた理念を持ち、信頼できる区政運営に尽力せよ。

人権尊重の視点で施策を展開せよ

―生活者ネットワーク世田谷区議団―

（全ての会計に賛成する意見）

世田谷みやげなどを返礼品として活用し、区へのふるさと納税を促進せよ。住民主体の介護予防サービスなどへの支援を充実せよ。NPOなどと一層連携して施策を展開せよ。本庁舎整備の基本設計での区民参加を進めよ。ヘイトクライムの根絶に取り組め。区施設の緑化を推進せよ。学校や保育施設における衛生管理を徹底せよ。外部講師を活用した性教育を全区立中で行え。人権教育や環境教育を充実せよ。同性カップルの区営住宅への応募を可能とする条例改正の一日も早い実現に尽力せよ。

放漫財政放置はもはや保坂リスク

―減税せたがや―

（全ての会計に賛成する意見）

過度の返礼品競争には加わらないとして区外へのふるさと納税の拡大を放置し、区民サービス低下につながる多額の財源流出を招いた区長の責任は重大だ。早急に対策を講じよ。健全財政の構築に向け、区長は放漫財政を見直し、行財政改革に全力で取り組め。

柔軟な発想で施策を展開せよ

―レインボー世田谷―

（全ての会計に賛成する意見）

震災時に受水槽の水流出を防ぐ緊急遮断弁を整備し飲用水保全を。感震ブレーカーの設置助成では、自動点灯する保安灯の併設を条件とせよ。伝統野菜継承に取り組み。学芸員は正規職員を原則とせよ。保育園用地の確保に向け、立体都市公園制度の活用の可能性を探れ。

将来を見据えた財政運営に努めよ

―せたがやすこやかプロジェクト―

（全ての会計に賛成する意見）

将来を担う子どもたちにツケを残すことのないよう、事業の見直しを行い、健全な財政運営に努めよ。高齢者や障害者、子どもなどが安心して暮らせる環境を充実せよ。保育待機児を解消せよ。児童生徒数の増加に伴う学校の教室数不足などの課題に適切に対応せよ。

時代のニーズに的確に応えよ

―世田谷無所属―

（全ての会計に賛成する意見）

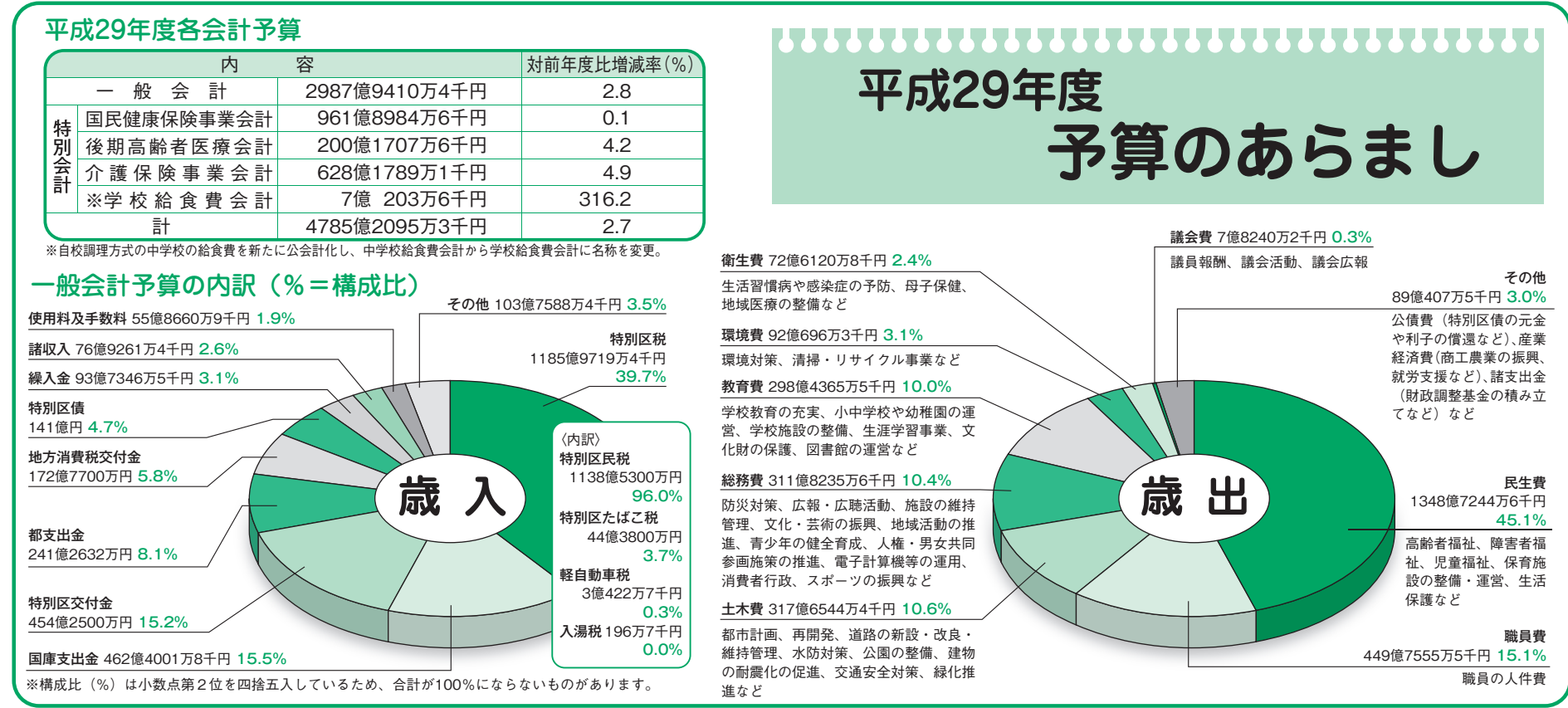
新公会計制度の導入に際し、貸借対照表作成への計画的な準備、連結財務諸表を活用した外郭団体の見える化、職員の会計に係る知識の向上に着実に取り組め。全区立図書館にICタグを導入せよ。システム管理に携わる人材育成を進めよ。預かり保育を拡充せよ。

豊かな発想を持って施策を進めよ

―無所属―

（全ての会計に賛成する意見）

梅まつりでは多くの職員が地域と連携して一生懸命に活動していた。今後も地域を大切にし、区民とともに行動せよ。太子堂調理場改修中の弁当方式給食実施に際し、区は献立作成にかかわり生徒が喜ぶ給食を提供せよ。職員は豊かな発想を持ち効果的な区政を目指せ。



↑1ページからの続き↓

8